



芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>



本市の地域おこし協力隊である佐野貴美恵さんが撮影した上金剛山公園から望む雲海です。朝早く通い続け、3度目にしようやく写真に収めることができたとのこと。皆さんも、ぜひ同公園に足をお運びいただき、この絶景をご覧になりませんか？



議長動静

芦別市議会議長

田森 良隆

主な内容

- ◎ 特集・社会産業常任委員会作況調査…………… 2
- ◎ 9月定例会一般質問…………… 3
- ◎ 9月定例会の議決結果…………… 6
- ◎ 特集・令和3年度決算審査特別委員会が行われました…………… 8
- ◎ 12月定例会市議会のお知らせ…………… 8

第6回市議会(定例会)が、9月8日から22日まで開催され、期間中に市から提出された議案を審議し、一般質問で芦別市が抱えています諸課題について、議論を交わし、22日に議会提出の議案を含む令和3年度各会計決算認定、令和4年度各会計補正予算や条例等を可決し閉会しました。令定例会では、議会運営委員会の提出として定数を1人削減するための議員定数の改正条例案を提出し、賛成多数で可決し、現行12人の定数を11人に削減することとなりました。

本市の議員定数は、平成23年4月の市議会選挙から14人を12人に削減し、11年が経過しました。この間本市を取り巻く環境が大きく変わり、特に人口が約4千7百人減少し、来年春には1万2千人を下回る状況も考えられます。また、全国的にも議員のなり手不足による無投票当選が多くなつてきている状況もあり、当市議会においても無投票当選は今後あり得る状況にあります。

来年4月には、市議会議員選挙が執行されます。選挙に出馬する現議員においては、市民から4年間の議員活動の評価を受ける必要があります、そのためにも無投票の選挙は避けなければならぬと思っております。

私たちが議員の任期は残り半年となりましたが、市民の皆様が安心してこの芦別で生活できるように、残りの任期を市とともに諸課題に取り組みでいく所存であります。

11月に入り、朝晩と寒い日が続くようになってきました。雪の季節も近づいて来ます。まだまだ新型コロナウイルスが心配されるところでありますので、市民の皆様におかれましては、状況に応じたマスクの着用、手指消毒などの新型コロナウイルス予防対策を引き続き行っていただくとともに、季節の変わり目、くれぐれも風邪など引かないようお気をつけてお過ごしください。

社会産業常任委員会作況調査

9月2日に社会産業常任委員会による作況調査を行いました。昨年の夏は、7月13日から8月8日まで連続29日間も真夏日が続く記録的な猛暑でした。この猛暑が農作物に与えた影響は甚大なものとなりました。今年も昨年の影響が残っているのか、畑作や水稻の生育状況を確認するために作況調査を実施いたしました。



全委員の5名が参加しました。まずJA集荷場で車両を洗浄し、新城町にて畑作物の生育状況を確認し、JA集荷場にて農作物の出荷状況について話を伺いました。その後野花南町の加藤農場にて、芦別産酒米「山田錦」の生育状況について、説明を受けました。

昨年は猛暑による農作物への影響は大きく、豆もそばも生育の遅れから収穫量、品質ともに

悪く、ばれいしょにいたっては、植え付け作業は例年より早く始まったものの、猛暑と干ばつの影響で収穫量の大幅な減少、収穫サイズのランクダウンとなるなど、明るい話題がありませんでした。

今年も、3回の大雨で、植え付け直後の種芋が流されたり、流出した土砂によりため池が埋まったりするなどの被害が出たものの、畑作物全体ではおおむね良好といった評価でした。



水稻に関しても平年並みの生育状況であり、収量も平年並みということですが、胴割れなどの心配があるとのこと。メロンに関しては平均的に大玉傾向で推移し、好天により糖度も順調にあがったとのことです。かぼちゃに関しては定植後の低温等により着花不良も散見されましたが、日焼け等の被害も少なく平年並みでした。しかしながら機械化が難しい作物のため、なかなか後継者がおらず、生産者戸数の減少により収量は年々減少傾向にあります。アライグマやカラスによる被害報告もありました。

そして何より、原油価格の高騰、円安、ウクライナ情勢などの国際的問題が重なったことによる農業資材、燃料、飼料等の価格が高騰しています。農業所得の減少は、さらなる農家数の減少や新規就農者の減少につながります。私たちは芦別市の基幹産業である農業を守るために、強い意志で今後もしっかりと行政に訴えかけてまいります。

9月定例会 一般質問

9月定例会 一般質問

政風会



北村 真 議員

質問 芦別市まちづくり推進事業について

本事業補助金を活用し、地域の特性を生かした独自の個性のあるまちづくりを推進するために、事業の自立や定着という視点から、まちづくりチャレンジ事業の期間と補助金額の上限を3年という限度を5年に延長し、他の事業と同様に200万円まで引き上げ、制度を拡充することについての考えについて伺う。

答弁

市内各種団体等からいただいだいた地域の活性化や地域の意見を参考に平成29年度から開始した事業メニューで、これまでの利用実績としては、合計6事業となっております。

これらの事業については、すべて単年度の開催であり、2年以上の継続事業はなかつたところであり、また、ご示唆をいただいた、アフター

コロナを見据え、閉塞感を払しょくする上でも、まちづくりチャレンジ事業をより活用しやすくするため、対象期間の延長、また、補助金の上限額の増額についても、まちづくり推進事業委員会に諮り、前向きに検討してまいります。

再質問

本年度も制度の利用が無く、過去3年間利用実績がない中で来年度以降に利用したいと考える団体に対してのニーズの掘り起こしになるような周知のあり方について伺う。

答弁

まちづくりチャレンジ事業に対しましては、補助金の上限額や対象期間の延長等につきましても、内容の変更があった場合には条例改正が必要となります。その場合には議会での審議議決が必要となり、可決となった際には広報あしべつやホームページを活用して周知を図ってまいりたいと考えております。

要望

この制度の拡充を希望しているが、この制度を使いにくい人に対して取りこぼしが無いような周知を行っていただきたい。また、利用者が使いやすく、効果が大きくなるように拡充に向けた議論を進めていただきたい。

日本共産党



松井 邦男 議員

質問 統一協会と関連類似団体について

選挙中に安倍元首相は銃撃を受け亡くなられたが、統一協会と国会及び地方議員、自治体との関わりが問題となっているが、芦別市及び市長に伺う。

答弁

市及び私の在任中は、団体との関わりはありません。

質問 安倍元首相の「国葬」について

政府は閣議で、安倍元首相の「国葬」の法律もないのに安倍元首相だけをなぜ特別扱いするのかと国民の中止・反対の声がある。市長は参列を求められた場合の対応について伺う。

答弁

「国葬」の明確な基準などの規制が講じられることが望ましいと思います。政府から協力要望はしないの方針があり、市として特別の対応は考えておりません。

旭町を居所とする宗教法人「天徳育成会」に関して

質問

人口減少のもとで旭町に道外から信者が移住しているが、旭町での人口動態について伺う。

答弁

過去10年間の住民基本台帳では、2013年9月は338人、2022年8月では305人です。

質問 町内会未加入世帯への市行政情報の提供について

市広報紙発行規則では全世帯に無料頒布を定めているが、事情があつて町内会未加入世帯の市民は、公平に周知を受ける権利がある。受け取れるよう行政からの適切な対応について伺う。

答弁

広報紙は市役所窓口や図書館、市立病院など公共施設、芦別駅、金融機関に置いてあります。是正を指摘された「金券的物件」いわゆるクーポン割引券は、全世帯にもれなく郵送などで直接届くように努めます。

質問 コロナ感染高止まり状況について

感染高止まりが続いていることで市からの情報提供がないことへの市民から不満の声を聞く。市の情報提供対応を伺う。

答弁

感染状況、ワクチン接種のほかに抗原検査などの情報は、市のホームページなどとともに折り込みチラシ配布により必要な情報提供に努めてまいります。

無所属



若松 市政 議員

農業振興について

質問

今年の本市主要農作物の収穫量等について伺う。

答弁

育は好天により順調に推移し、出荷数量は1万923箱、前年度出荷数量との比較で1895箱減の85・5%となり、市場価格の動向では、4〜6玉入りが平均4千円程度で取引され、おおむね前年同水準で推移し、水稻、ばれいしよも平年並みの収量が見込まれ、かぼちゃ、食用ゆり根も平年並みの出荷量が見込まれております。

質問

生産資材高騰への対策として、道内において独自に高騰対策支援金の給付を行っている市町村はあるのか伺う。

答弁

中空知管内においては、滝川市、新十津川町、奈井江町において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、肥料、施設園芸資材の価格高騰を受ける経営者に対して助成を行う独自支援策を実施しております。

質問

8月に実施した作況調査の際に、生産者の皆さんから生産資材の高騰対策に関する内容の話は出なかったのか伺う。

答弁

農業経営の維持継続の一助に、緊急的な支援措置として支援金を支給するため、6月定例会で議決をいただいた芦別市農畜産物生産者緊急経営支援金支給条例により、各生産者へ去る8月19日に申請書類を発送し、同22日から申請受付の進捗を進めております。

8月25日に実施した作況調査の際には、生産者の皆さんから「大変助かります」との感謝のお言葉をいただいております。

行財政運営について

質問

市民にとって縮充の「充」とは何か伺う。

答弁

「充」としての施策推進を図るうえでは、現状の施策等を維持することを前提としながらも、いかにして財源を確保・留保しながら、さまざまな分野における市民サービスの質的向上を図っていくことが重要かと考えております。

政風会



林 伸樹 議員

消防団協力事業所表示制度について

質問

本市での消防団協力事業所表示制度の活用状況及び消防団員確保のための企業支援について見解を伺う。

答弁

本市には認定事業所はありませんが、消防団協力表示制度は消防団への入団促進、確保に資するものであり、従業員の消防活動に理解協力をいただいている企業への支援策の創設について滝川地区広域消防事務組合へ伝えていきたいと考えております。

消防団員の被服給貸与について

質問

消防出初め式分列行進において、組合での防寒衣の着用がさまざまであることから被服等に関連する組合規則等についての解釈を伺う。

答弁

消防団の給貸与品は、規則に基づき給貸与することが望ましいと考えており、芦別消防団との意見交換会において、特

に防寒作業服並びに外とうの貸与について要望をいただいておりますので、来年度の貸与に向け検討してまいりたいと考えております。

水防計画等について

質問

浸水想定区域での自主防災組織及び消防団など避難活動を行う場合の救命胴衣の有無と必要性について伺う。

答弁

本市の水防計画において、救命胴衣は必要な装備品としており、市内の6分団に各5着ずつ配備したところでありますが、自主防災組織の活動は、救命胴衣を着用する危険な状態までの活動は含まれていないことから、必要な装備としてのとらえ方はしておりません。

野花南大橋付近での交通事故防止策について

質問

スピード抑止効果のある標識設置の見解及び社会資本整備事業とした線形改良要望の進捗もしくは推移についての現在の状況を伺う。

答弁

国道につきましては、市が警戒標識や規制標識を設置することはできませんが、要望にあつては状況調査を行い、協議を行ってまいります。線形改良については、現在、要望は行ってはいないところであり、国においては、当面、架け替えの計画は無いと伺っております。



(注)フレイル：「健常」から「要介護」へ移行する中間の段階のことで、具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。

9月定例会 一般質問

公明党



松尾 達矢 議員

コロナ禍における高齢者の健康について

質問

高齢者の健康二次被害について伺う。

答弁

高齢者の体力測定会では、握力や10m歩行など5種目の測定を行っていましたが、コロナ禍により令和2年度は見送り、令和3年度は運動教室で握力測定のみを実施し、令和元年度との比較で男女とも全体的に握力が低下しております。コロナ禍で運動する機会が減少したことが大きな要因と考えられます。

質問

二次被害の予防について伺う。

答弁

運動教室への個別の呼びかけや、体力測定を定期的を実施することにより経年変化を実感してもらい、体力の維持向上につなげていくなど、日々の努力の積み重ねによる予防効果を訴えていくほか、保健師が高齢者の通いの場へ出向いてフレイル(注)予防に関する健康教育や健康相談の推進に努めてまいります。

子どもの健康を守る取り組みについて

質問

ICT化における子どもの健康面について伺う。

答弁

各学校では、視力や姿勢、睡眠への影響など、児童生徒の健康に配慮することが必要で、良い姿勢を保つこと、長時間にわたって継続して画面を見ないこと、30分に1回は画面から目を離すこと、教室の明るさを調整することなどの端末を活用した授業を行うっております。児童生徒が自らの健康について自覚を持つよう基本的な知識についての指導を行っているところです。

質問

スマホ、タブレット端末による目の被害について伺う。

答弁

今後、端末の持ち帰りによる家庭での活用機会も増えるものと考えておりますので、教育委員会や各学校が作成している「タブレット持ち帰りのルール」の文書の配布などにより、保護者の方に家庭での指導に関して協力をお願いし、テレビの視聴時間やゲームをする時間など規則正しい生活のルール作りにより、目を休める時間を確保するよう、家庭での取組を改めてお願いしてまいりたいと考えております。

※他に、芦別市斎場の利用料金や大型炉の導入について質問しました。

新星クラブ



新村 充 議員

後継者不在の企業や店舗対策(事業承継)について

質問

日本政策金融公庫の調査では、60歳以上の経営者のうち50%超が将来的な廃業を予定しており、このうち後継者難を理由とする廃業が約3割を占める。帝国データバンクによると道内1万5

65社における後継者不在率は71%になる。これ以上、地域のお店や企業がなくなるといふに対策が必要ではないか。本市ではどのように後継者問題の情報を吸い上げ、サポートしていくのか伺う。

答弁

後継者を募集する市内事業者に対する諸費用の支援策や跡継ぎを希望する方への働きかけの手法など、具体的なサポートのあり方について検討してまいります。

地域おこし協力隊の今後の採用予定について

質問

フリーミッション部門の応募状況、ほかの部門での採用予定を伺う。また、採用者と受け入れ側のズレが生じることが

あるが、書類審査など第1次選考の段階で受け入れ先、専門分野の人材なども入れて精査していくほうが良いと思うが、本市の考えを伺う。

答弁

現在フリーミッション部門で2名の応募があります。ご示唆のありましたように専門分野の方の面接を含め、第1次選考段階から協力いただくと方向で検討してまいります。

空き家対策について

質問

重要なのは、空き家が放置され経年劣化が進む前に、いかにして空き家情報が必要な方に橋渡しをするかだと思う。空き家バンクでは空き家の外装と間取り図しか載せていないが、内装の動画(YouTube)など、より多くの情報を掲載し、空き家の解消につなげるべきではないか。本市の考えを伺う。

答弁

他市の取組状況なども参考にしながら、掲載内容のさらなる充実に向けてまいります。

学校での夏のマスク着用ルールについて

質問

熱中症による救急搬送が全国で相次いだことを受け、道教委は、道内の各市町村や学校に対し、児童生徒に登下校などの際にマスクを外すことを指導するよう通知した。熱中症リスクがある中での子どものマスク着用ルールに関してどのように指導していく考えか伺う。

答弁

熱中症のリスクが高いときには、マスクを外すよう教員が児童生徒に指示をするなどの対応を図っているところであります。なお、夏季におけるマスク着用の考え方や対応については、保護者の方にも各学校からお知らせし、理解と協力をお願いしているところであります。

新星クラブ



石川 洋一 議員

ワンストップ窓口の取り組みについて

質問

行政窓口の「書かないワンストップ窓口」について伺う。

答弁

現状では、ひとつの場所でさまざまなサービスが受けられる環境として、個人情報などに配慮した庁舎窓口のスペースや、各種業務に係る端末システムの一本化など、新庁舎整備での検討を含め整備しなければならぬ課題があります。各セクションの職員が移動して一つの窓口で対応するなど可能な範囲で取り組みを進めたいと考えております。

公共施設のLED化について

質問

公共施設のLEDに変えていくスケジュール化について伺う。

答弁

これまで、図書館・青年センター体育館・総合福祉センター大ホールの照明をLEDに更新し、また、市道の街路灯を今年度から令和7年度までの4か年で計画的に交換を行います。他の公共施設については、各施設を所管する部署と調整しながら、計画的な整備に努めてまいります。

道の駅PR看板の設置について

質問

道の駅PR看板を、新築住宅資金奨励金の看板に作り替えてPRしてはどうか伺う。

答弁

道の駅は、本市観光の玄関口として観光客を迎え入れる場所として機能しており、観光のまち、星の降る里芦別の全面的なPRを重視する観点からも、看板を書き換える考えはありませんが、ご示唆の奨励金等については、観光物産センターや公衆トイレのイラストにQRコードを入れた周知ポスターを貼るなどのPRに努めてまいります。

答弁

長引くコロナ禍の影響により、飲食事業者をはじめさまざまな業種において厳しい経営を余儀なくされておられるものと認識しております。現下の原油価格や諸物価の高騰の中、その対策が急がれることから、今後の国の動向等も踏まえ、飲食店への支援のあり方についても検討していきたいと考えております。

議会をインターネットで生中継

本会議の様子を、動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）で生中継いたします。

過去に開催された本会議、常任委員会、特別委員会も視聴することができますので、ぜひご覧ください。



「芦別市議会
YouTubeチャンネル」



9月定例会 議決結果

◆ 9月定例会の議決結果

9月8日、令和4年第6回市議会（定例会）が招集され、会期を22日までの15日間と定めて、令和3年度各会計決算認定、令和4年度補正予算、条例制定・改正、人事案件などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■ 全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
決算認定	令和3年度市立芦別病院事業会計	認定	条例改正	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	原案可決
〃	令和3年度水道事業会計	認定	条例廃止	寡婦住宅条例	原案可決
補正予算	令和4年度一般会計（第7号）	原案可決	人事案件	固定資産評価審査委員会委員の選任（被選任者：大西俊夫氏）	同意
〃	令和4年度一般会計（第8号）	原案可決	〃	教育委員会委員の任命（被任命者：水上博樹氏）	同意
〃	令和4年度国民健康保険特別会計	原案可決	その他	表彰条例に基づく被表彰者の決定（功労者8名、善行者：4名、5団体）	同意
〃	令和4年度介護保険事業特別会計	原案可決	報告案件	令和3年度決算に基づく健全化判断比率	報告済
〃	令和4年度後期高齢者医療特別会計	原案可決	〃	令和3年度決算に基づく資金不足比率	報告済
条例制定	市議会議員及び市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例	原案可決	意見書	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書	原案可決
〃	子宮頸がん予防ワクチン任意接種費用の償還払に関する条例	原案可決	〃	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	原案可決
条例改正	職員の育児休業等に関する条例	原案可決	〃	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書	原案可決
〃	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例	原案可決	〃	地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書	原案可決
〃	乳幼児一時預かり事業条例	原案可決	〃	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書	原案可決
〃	病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例	原案可決			

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大鎌光純	北村真	樋坂直紀	林伸樹	石川洋一	新村充	松井邦男	若松市政	小川政憲	松尾達矢	田森良隆
決算認定	令和3年度一般会計歳入歳出	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	令和3年度各特別会計歳入歳出	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
条例改正	市議会議員定数条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議

令和3年度決算審査特別委員会が行われました。

9月定例会市議会開会期間中の3日間、議長を除く10名(欠員1名)の委員により構成される「決算審査特別委員会」(小川委員長・新村副委員長)がコロナ禍にあるため特例措置として1日短縮した日程で開催されました。理事者側の出席者は市長以下全幹部職員が出席する中で、1日約5時間質疑を行うことを慣例としています。審議に付された議案は、①一般会計歳入歳出決算認定②各特別会計歳入歳出決算認定③市立芦別病院事業会計決算認定④水道事業会計決算認定の4議案であります。審議は、各特別会計、事業会計の歳入(収入)、歳出(支出)を一括して各会計ごとに質疑を行い、一般会計は歳出(支出)から「款」ごとに、歳入(収入)は全款一括して質疑を行うこととして行っています。

であったか、そしてどう評価しているか、更には次年度に向けての課題としてどう位置付けているか等の観点から議論が交わされます。委員会の進行にあたって注意していることは、国会と同様であってはならないの思いから、現年度に関わる議論は控えていただき、決算年度に関わる質疑に集中するよう舵取りすることに意を用いています。

当特別委員会も公開しております、ぜひ、インターネット配信で白熱した質疑を視聴いただければと思います。

令和3年度決算審査特別委員会
委員長 小川 政憲

※「款」の解説

歳入の「款」とは、1款議会費、2款総務費、3款民生費・・・14款予備費まで分野別に区分されています。

歳入の「款」とは、1款市税、2款地方譲与税、3款利子割交付金・・・22款市債まで性質別に区分されています。

議会の動き

令和4年8月上旬～令和4年10月下旬

【8月】

- 23日 行政視察受入
(神奈川県綾瀬市議会)
- 25日 総務常任委員会

【9月】

- 1日 議員会派代表者会議
- " 議会運営委員会
- 2日 社会産業常任委員会(作況調査)
- 8日～22日 第6回市議会(定例会)
- 8日 全員協議会
- 14日 総務常任委員会
- " 新総合庁舎整備特別委員会
- 15日 社会産業常任委員会
- " 議会改革特別委員会
- 16日～21日 決算審査特別委員会
- 20日 議員会派代表者会議
- " 議会運営委員会
- 22日 議員会派代表者会議
- " 広報広聴委員会

【10月】

- 5日 行政視察受入
(奈良県宇陀市議会)
- 14日 広報広聴委員会
- 17日～20日
総務常任委員会道外行政視察
(宮城県ほか)
- 21日 議員会派代表者会議
- " 議会運営委員会
- 24日 第7回市議会(臨時会)
- " 総務常任委員会
- " 社会産業常任委員会
- 25日～28日
社会産業常任委員会道外行政視察
(岡山県ほか)
- 27日 総務常任委員会学校視察
(芦別小・芦別中)
- " 総務常任委員会行政視察調査
(芦別高)
- 31日 行政視察受入
(雲仙・南島原保健組合議会)

12月定例会市議会のお知らせ

- 会期 12月8日(木)～16日(金)
- 日程 8日(木) 本会議(議案の提案)
12日(月)・13日(火) 本会議(一般質問)
14日(水)・15日(木) 常任委員会
16日(金) 本会議(議案の議決)

◆開会時間 いずれも午前10時から。
※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。



編集後記

晩秋の頃となり、ナナカマドの緑色と朱色のコントラストは一段と鮮やかに映えます。山での紅葉はこれから色とりどりに染まって目を楽しませてくれるでしょう。

幼い頃、学校で教わった唱歌「もみじ」が口に思わずでできます。

9月議会(定例会)は、9月22日に閉会。7人の議員が市政各般にわたる一般質問を行いました。

議会最終日には、大鎌議会運営委員長から議員報酬及び議員定数に関する条例改正の提案があり、採決では議員報酬は全員賛成でしたが、議員定数の見直し(現行12名を1名減の11名)については、賛成多数で来春の市議選での定数減を議決しました。

議員4年の任期は残すところ、わずかとなりました。4年前、少数激戦の洗礼を受け当選。マチのため、市民のためと強い思いで尽力してきました。来春の市議選では、現職と新人が11の議席をめぐる市民の評価、審判を受けます。

人口減で過疎化が進む中、元気で住んで良かったと云える芦別を市民の皆さんとともに目指します。

(松井)

芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 樋坂直紀
- 副委員長 松尾達矢
- 委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一
- 委員 松井邦男、新村充